

か す み

# 香住 ふるさとガイド

や  
だ  
矢田

し  
も  
の  
は  
ま  
下浜

弁天島

松島

鉄砲島

オッパセ浜

兄弟赤島

(国)天然記念物  
鎧の袖

松ヶ崎百層崖

よ  
ろ  
い  
鎧



(国) 国指定(重要)文化財  
 (県) 県指定重要文化財  
 (町) 町指定文化財

大引の鼻  
展望台

日本の夕陽百選  
ゆうなぎの丘



はなみとうけほくきいんとう  
花見峠宝篋印塔



今子浦

白石島の原生林



白石島



せんだん葉の菩提樹

かすみ  
ガイドマップ  
境・一日市・若松

# かすみ ガイドマップ

香住・七日市・西香住・駅前



志馬比城址



ちまげんじはいしあと  
長見寺廃寺址

▲姫路山

姫路山古墳

香美町役場

香住第一中学校

山の神の祠

矢谷遺跡

香住合川

香住谷

たまたまのつばき  
元金刀比羅神社

しまひじょうあと  
志馬比城址

▲島山

駅前

香住駅

香住駅前交番

岩鼻

通玄寺

桜の木

大向遺跡

香住神社

有馬皇子の墓

(県)香住三番叟

香住区中央公民館

とうろう  
燈籠の松遺根

香住文化会館

お地藏様

美方警察署  
香住警部派出所

香住村道路元標

香住幼稚園  
香住小学校

本誓寺 鐘撞き堂

竜の彫刻、イチヨウの木、クスの木

石仏道じるべ

天満神社

せき神さん

地神さん

坪の内遺跡

なのかいち  
七日市

しおかぜ香苑

但馬六十六地藏第1番札所  
英麟泰仲和尚の石碑

香住漁港  
西港

七日市浜

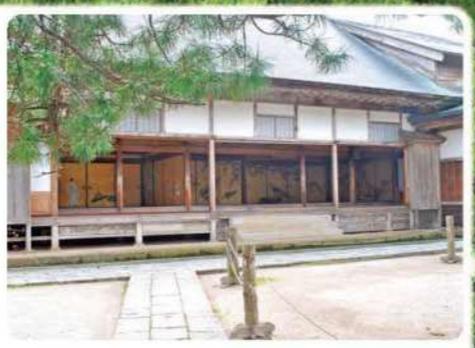


本誓寺 竜の彫刻



**かすみ**  
**ガイドマップ**  
森・油良・間室

- 大乗寺のたからもの**
- (国)大乗寺障壁画
  - 木造聖観音立像2軀
  - 木造十一面観音立像
  - (県)木造薬師如来座像
  - 木造四天王立像
  - 大乗寺宮殿及び庫裏山門
  - (町)大乗寺観音堂
  - 元じいがかま古墳天井石
  - 大乗寺のくす
  - 古梵鐘、塞の神



大乗寺客殿



山野神社



美濃谷地蔵



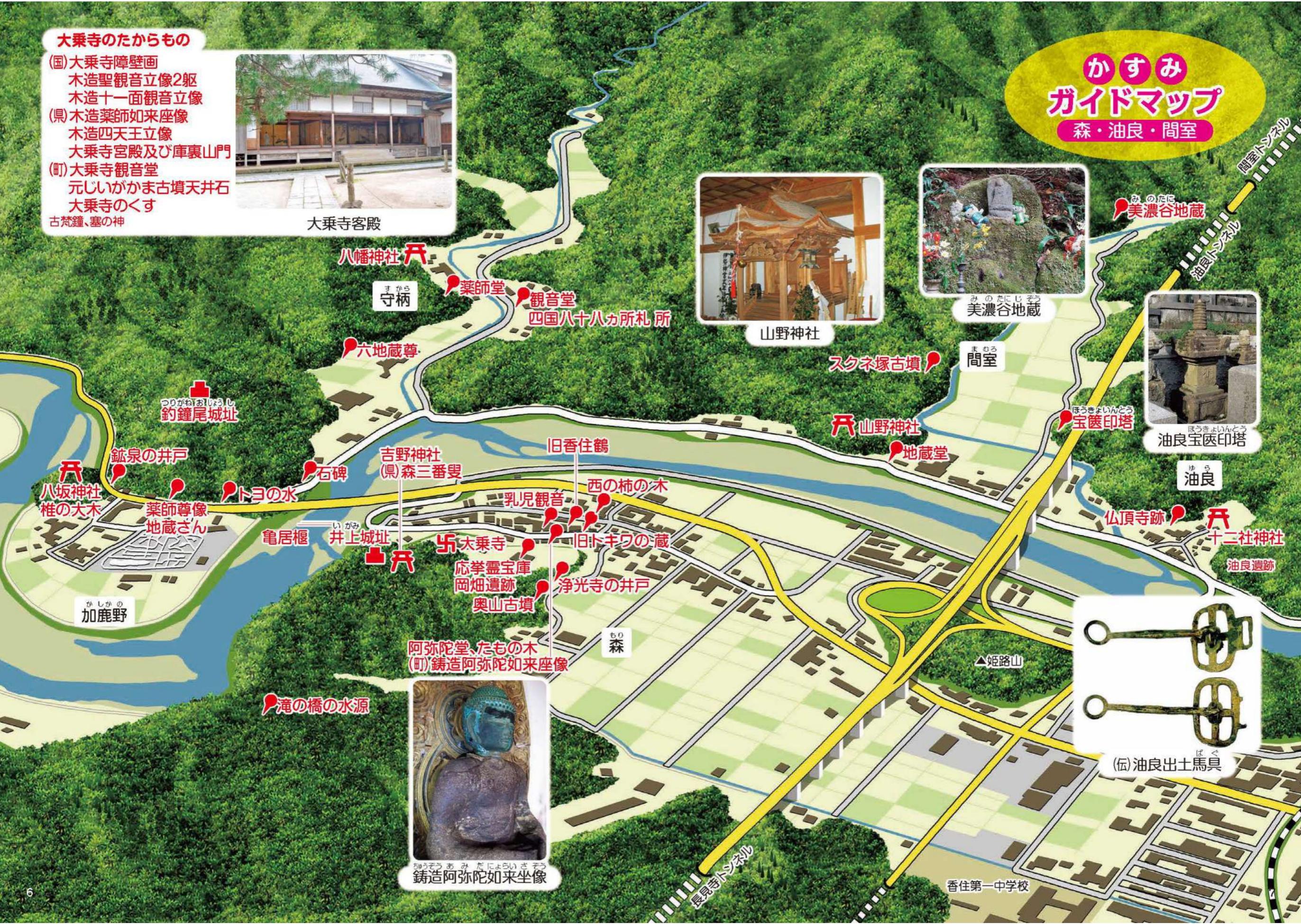
油良宝篋印塔



阿彌陀如来坐像



(伝)油良出土馬具



# かすみ ガイドマップ

矢田・下浜・鎧



帝釈天倚像

## 帝釈寺のたからもの

- もくぞうしょうかんのんりつぞう  
(国)木造聖観音立像
- たいしやくてんいぞう  
(県)帝釈寺本堂、帝釈天倚像
- ほんにゃしゃかじゅうろくぜんしんぞう  
(町)般若(釈迦)十六善神像
- もくぞうやくしりょういざぞう  
木造薬師如来坐像
- どっこいしせいどうせいまいぼうつ  
独钴石、青銅製経筒
- たいしやくじていえん  
帝釈寺庭園

鯿口、枕石、手水鉢、但馬国太田文、五色椿



トチ三田遺跡出土土馬



上野山1号墳

高木城址

下浜

三田浜海水浴場

三田浜

トチ三田遺跡

久津居湾

但馬松島

弁天島

のりば  
法庭神社  
三イの木・古墳

八幡神社  
(県)下浜三番叟  
一本杉・タモの木・経塚

観音堂遺跡

五輪塔群  
木の股観音

クラ谷古墳

(県)下浜の流痕

アゴなし地藏

地藏が鼻

帝釈寺

梨の記念碑

西迎寺

(町)木造阿弥陀如来坐像  
方位石・洗心甘露水・力石

船つなぎの櫂遺根

足跡化石

下浜港



下浜の流痕



十二社神社

タツババの洞窟

(国)鎧麒麟獅子舞

鎧駅

# 名勝香住海岸と 山陰海岸ジオパーク

香住海岸周辺は江戸時代から美しい景観であることが知られていきました。その美しい景観を守るため1938年に名勝として国の指定を受けました。1955年には国定公園、1963年には国立公園に指定され2010年には世界ジオパークネットワークに加盟認定され、世界的に貴重な地域であることが認められました。

美しい香住海岸の景観と自然環境を将来に残していきましょう。

## げっばろう き 月波楼の記

江戸時代の有名な学者、皆川淇園（1735-1807）はその著書「月波楼の記」の中で、香住海岸の美しさについて述べています。

「その最も奇絶（とてもすばらしいこと）は明るい月が海面に写るときである。東の山から月が出るときは特にうつくしい。趣のある海面に道のように光が生まれるのは、まるで生糸であんだ絹の布のようである。」とその美しさを書き記しています。

また黒島を「松が茂っており真っ黒なので黒島という」とし、白石島については「島全体がみな桜の木で、春の花盛りのときは白い雲が海に浮かんでいるようである」と書かれています。

1928年の兵庫県の調査報告書には「岡見亭（今の岡見公園）より東望した景観は香住町の誇りとするところであり、淇園が名文になれるのもこの絶景にほかならぬ。」と、絶賛されています。



岡見公園から見た白石島(左)と黒島(右)

## 香住漁港

昔、香住沖は豊かな漁場でしたが大きな港がなかったため、大きな船をつけられず、港の整備は漁業関係者の悲願でした。その思いをうけ、1893年に香住村漁業組合が設立されました。初代組合長として、当時35歳の若さで村長に就任していた長熙が選ばれました。長熙は初代の漁業組合長として漁法の改善などの漁業の近代化と組織化を成功させ、港湾整備促進に尽力しました。しかしながら、港湾整備のなかばの1921年にこの世を去りました。

その熱い思いを継いだのが息子である長耕作です。1922年に37歳で第3代組合長となり、港湾整備の推進に心血を注ぎました。その甲斐あって1929年7月に漁港修築の計画がまとまり起工式が執り行われました。

しかしながら、長耕作はこの完成をみることなく、同年8月に惜しまれながら43歳の生涯を閉じました。

長父子の漁港整備にかける熱い思いは地域の人々に引き継がれ、翌年1930年8月に修築工事がはじまりました。戦争で漁船が軍に徴用されたりして漁獲高が激減した時期もありましたが、人々は困難に立ち向かい1951年には第3種漁港の指定を受け、日本海有数の漁港となりました。



昔の香住漁港



長 熙



長 耕作



長父子の碑

# 香住の年中行事

わたしたちのまち香住には昔から伝え継いできたいろいろな行事やお祭りがあります。その一つ一つに意味があり、地域のこころの拠り所となり絆を象徴するものでした。いろいろな行事に参加して、その思いに触れてみましょう。

## さんばんそう 三番叟（県指定無形重要文化財「香美町の三番叟」）

### 【一日市、香住、森、下浜】

香美町内には三番叟が7カ所伝承されていますが、特に香住地区には、一日市、香住、森、下浜の4カ所で伝承されています。

それぞれの三番叟は細部で振り付けなどが異なっていますが、おおよその構成は同じです。千歳、翁、黒木尉の順で舞台上に上り舞を舞います。天下泰平、国土安穩を願う舞であり地域の人々に伝承されてきました。一日市三番叟の面の裏には元禄9(1696)年の年号が書かれており、とても昔から舞われていたことがわかります。



香住 一日市



森 下浜

### 獅子舞【若松】

三柱神社の秋祭で獅子舞が披露されます。この獅子舞は1人が獅子頭をもち、もう1人が後ろに入る伊勢大神楽系の獅子舞です。



獅子舞

1950年に有志が豊岡のおだい小田井神社で習ってきたものが伝承されています。獅子舞は悪霊を払い、幸せを家に呼び込むといわれており、地域の人々の幸せを願う気持ちがこの伝統芸能を継承してきました。

月	日	行事(地区)
1	1	年賀式(各区・自治会)
	4	お日待ち(境、一日市)
	5	産土講(間室)、お日待ち(矢田)
	6	狐狩り、宮ごもり(七日市)
	7	どんど焼き(一日市、七日市、間室)、狐狩り(矢田、下浜)、お日待ち(下浜)、産土講(油良)
	8	どんど焼き(森、油良、矢田)、お日待ち(油良、間室)
2	9	山の神(矢田、下浜)
	3	節分祭(一日市)、宮ごもり(七日市)
	中旬	稲荷、金毘羅、恵比寿祭(下浜)
3	24	宮ごもり(七日市)
	初旬	事始め(七日市)
	中旬	初午祭(一日市)
	21	大師講(森)
4	春分の頃	社日祭(境)
	8	祈年祭・五社祭・護国祭(一日市)
	21	法庭神社春祭(下浜)
5	24	大山神社春祭(矢田)
	4	屋根ふき(間室)
	中旬	十一面観音祭(七日市)
5月下旬~6月上旬		シロメテ(七日市、間室)
6	第1日曜	産土講(森)
	24	万燈(下浜)

月	日	行事(地区)
7	第1日曜	弁天神社夏祭(境)
	第2日曜	八坂神社夏祭(一日市)
	24	愛宕神社祭(一日市)、愛宕講(間室、油良)、万燈・荒神・愛宕祭(下浜)
	28	川下大祭(七日市)
8	14	施餓鬼(矢田)
	23	地藏盆(矢田)
	24	万燈(下浜)
23~24		万燈(矢田)
9	秋分の頃	社日祭(境)
10	第1日曜	吉野神社秋祭・森吉野神社三番叟(森)、八坂神社秋祭・一日市三番叟(一日市)
	5	香住神社秋祭・香住三番叟(香住)、十二社神社秋祭(油良)、大山神社秋祭(矢田)、八幡神社秋祭・下浜三番叟(下浜)
	5日ごろ	獅子舞(若松)
11	21	大師講(森)
12	中旬	お火焚祭(一日市)

毎月	31	宮ごもり(七日市)
定めず		大師講(間室)、伊勢講、二十三夜講(年2回月を定めず、森)

# 香住の歴史

## 香住の古墳

香住地区内には多くの古墳があります。主に7世紀ころにつくられた古墳が多く、上野山古墳群などのように箱式石棺と呼ばれる板のような石でつくられた棺を直接埋めたものや、月岡下古墳のように横穴式の石室をもったものがあります。



月岡下古墳の石室のようす



出土した丁字型利器

なかでも月岡下古墳から出土した「<sup>ちようじがかりき</sup>丁字型利器」と呼ばれる鉄製品は日本で4例しか見つかっていない貴重なものです。

## 香住のお城と長見寺

一日市の岡見公園西側には「塔の尾城」、駅前の香住駅の駅裏の島山には「志馬比城」、森の大乗寺の裏には「井上城」、加鹿野の東側には「釣鐘尾城」、下浜の西には「高木城」がありました。中世にはこれらの城をめぐる戦いがありました。

香住第一中学校のそばに「矢谷トンネル」があります。長見寺はトンネルの南側周辺にあったといわれるお寺です。志馬比城主篠部氏が長見寺で法要を営んでいる最中に、塔の尾城主長氏と釣鐘尾城主野石氏に攻められて廃寺となったといわれています。

2002年に発掘調査が行われ50センチを超える柱の根の部分や、当時はお寺などに使われていたと考えられる瓦が見つかったことから、この周辺にお寺があったことは間違いないと考えられています。



長見寺柱  
発掘調査で発見された長見寺の柱の根の部分

時代		主な出来事
原始～古代	縄文時代	月岡下遺跡（香住）などで人が住んでいた
	弥生時代	矢谷遺跡で人々が暮らしていた
	古墳時代	月岡下古墳（香住）、上野山古墳群（矢田）など多くの古墳がつくられる トチ三田遺跡で塩づくりが始まる
中世	1301	帝釈天倚像（下浜）がつくられた
	1336	塔の尾城・釣鐘尾城と志馬比城の争いがあった
	1452	帝釈寺（下浜）の尊阿が但馬国太田文を写した
	1580	羽柴秀長の所領となる
	1595	小出吉政の所領となる
	1693	通玄寺（香住）の薬師堂が建てられた
近世	1686	一日市の浜にクジラがよってきた
	1781	1月24日 一日市・若松で大火事
	1794	大乘寺の客殿が再興され、円山応挙とその一門の絵が収められた
	1856	香住で大火事があった
近代	1879	一日市・香住・森・下浜に小学校がつくられた
	1883	香住警察署がつくられた
	1895	4つの小学校を統合し香住尋常高等小学校がつくられた
	1911	香住一城崎間の鉄道が開通し、香住駅が営業を始めた
	1912	余部橋梁が完成し、山陰本線が開通した
	1918	矢田川が氾濫し水害となった
	1925	香住村から香住町へ名前を変えた
	1930	香住漁港の改修工事がはじまった
	1945	香住沖で海防艦が沈められた（香住沖海戦）
	1946	香住高校が開校した
	1952	香住東港の工事ははじまった
	1997	ロシアタンカーの重油が流出し海岸に流れ着いた
	2005	城崎郡香住町、美方郡村岡町、美方郡美方町が合併して、美方郡香美町となった



香住沖海戦鎮魂碑

か す み

# 香住 ふるさとガイド

やだ  
矢田

しものほま  
下浜

弁天島

松島

鉄砲島

オツバセ浜

兄弟赤島

(国)天然記念物  
鎧の袖

松ヶ崎百層崖

よろい  
鎧



(国) 国指定(重要)文化財  
 (県) 県指定重要文化財  
 (町) 町指定文化財

大引の鼻  
展望台

日本の夕陽百選  
ゆうなぎの丘



はなみ とうげほうきよいんとう  
花見峠宝篋印塔

白石島の原生林



白石島



せんだん葉の菩提樹

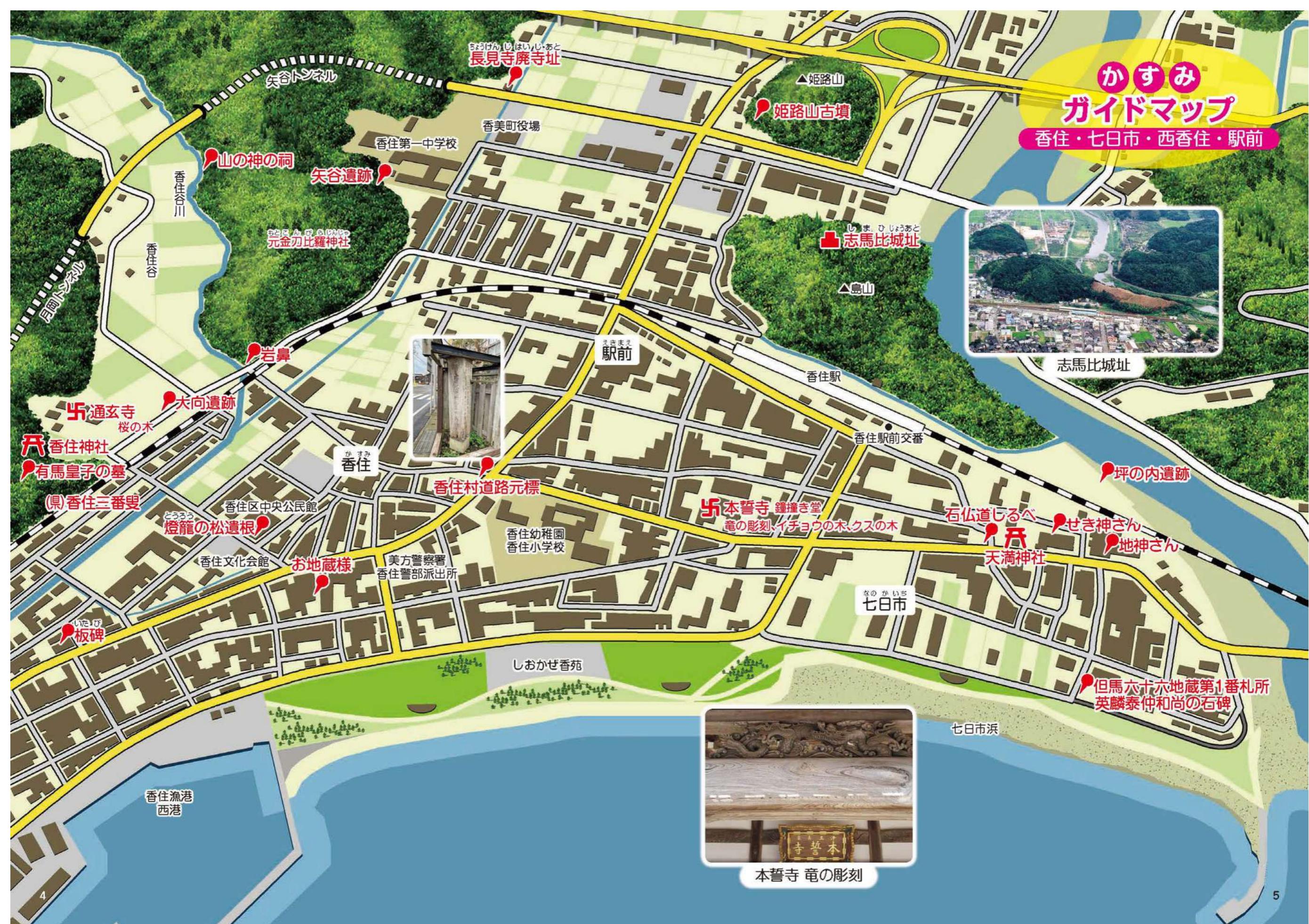
かすみ  
ガイドマップ  
境・一日市・若松

# かすみ ガイドマップ

香住・七日市・西香住・駅前



志馬比城址



香住村道路元標

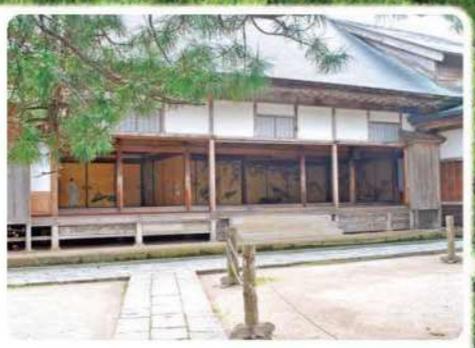


本誓寺 竜の彫刻

但馬六十六地蔵第1番札所  
英麟泰仲和尚の石碑

**かすみ**  
**ガイドマップ**  
森・油良・間室

- 大乘寺のたからもの**
- (国) 大乘寺障壁画
  - 木造聖観音立像2軀
  - 木造十一面観音立像
  - (県) 木造薬師如来座像
  - 木造四天王立像
  - 大乘寺宮殿及び庫裏山門
  - (町) 大乘寺観音堂
  - 元じいがかま古墳天井石
  - 大乘寺のくす
  - 古梵鐘、塞の神



大乘寺客殿



山野神社



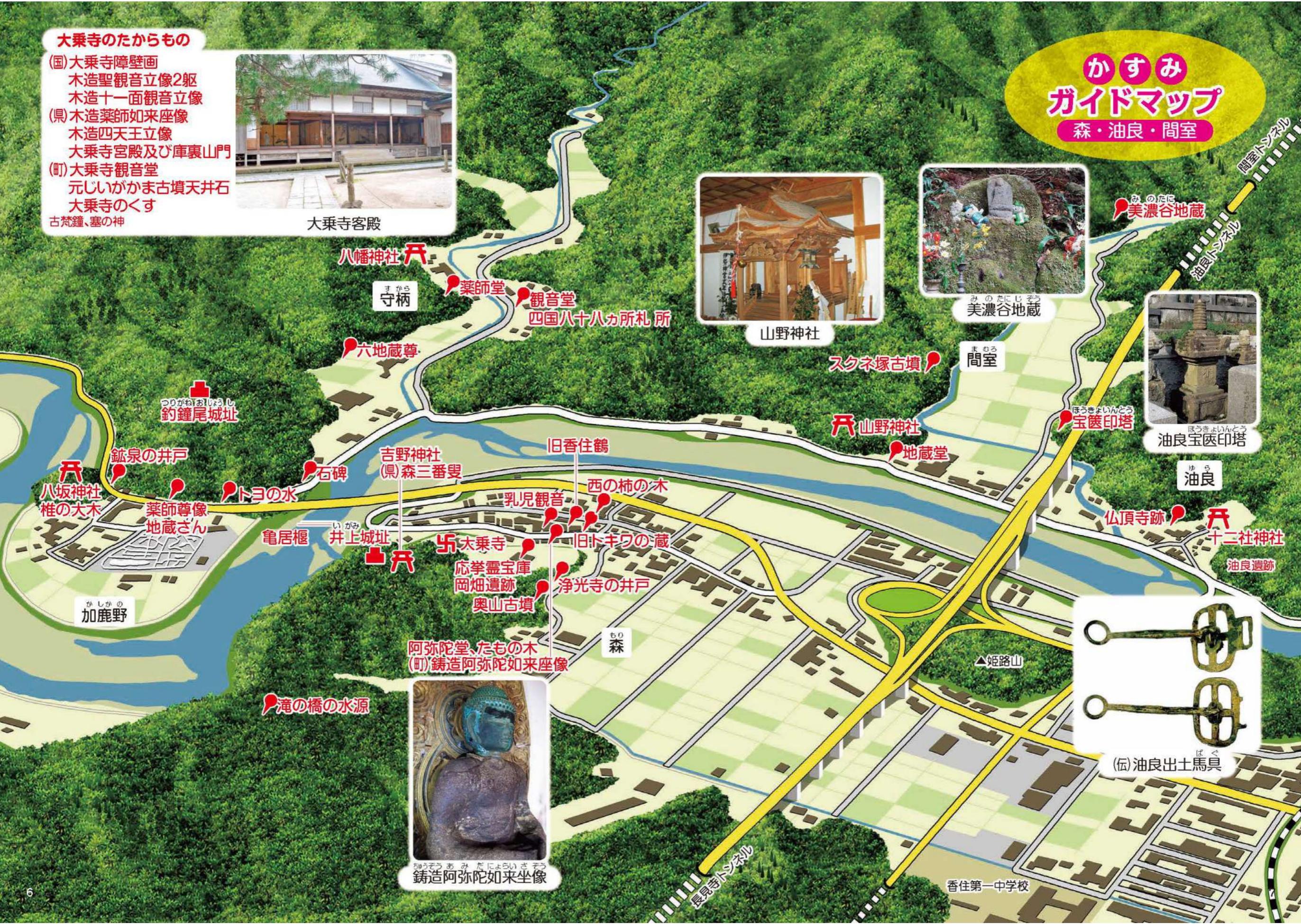
みのたにじぞう  
美濃谷地蔵



ほうきよいんどう  
油良宝篋印塔



(伝) 油良出土馬具



けうぞうあみだにらいざぞう  
鑄造阿弥陀如来坐像

滝の橋の水源

かすみ  
ガイドマップ  
矢田・下浜・鎧



帝釈天倚像

帝釈寺のたからもの

- もくぞうしょうかんのんりつぞう  
(国)木造聖観音立像
- たいしやくてんいぞう  
(県)帝釈寺本堂、帝釈天倚像
- はんにゃしゃかじゅうろくぜんしんぞう  
(町)般若(釈迦)十六善神像
- もくぞうやくしりょういざぞう  
木造薬師如来坐像
- どっこいしせいどうせいまいぼうつ  
独鈷石、青銅製経筒
- たいしやくじていえん  
帝釈寺庭園
- 鱧口、枕石、手水鉢、但馬国太田文、五色椿



トチ三田遺跡出土土馬



上野山1号墳

高木城址

下浜

久津居湾

トチ三田遺跡

三田浜海水浴場

三田浜

但馬松島

弁天島

法庭神社  
三イの木・古墳

八幡神社  
(県)下浜三番叟  
一本杉・タモの木・経塚

観音堂遺跡

五輪塔群  
木の股観音

クラ谷古墳

(県)下浜の流痕

アゴなし地藏

地藏が鼻

帝釈寺

梨の記念碑

西迎寺  
(町)木造阿弥陀如来坐像  
方位石・洗心甘露水・カ石

船つなぎの櫂遺根

足跡化石



下浜の流痕



鎧

(国)鎧麒麟獅子舞

十二社神社

タツババの洞窟

鎧駅

# 名勝香住海岸と 山陰海岸ジオパーク

香住海岸周辺は江戸時代から美しい景観であることが知られていきました。その美しい景観を守るため1938年に名勝として国の指定を受けました。1955年には国定公園、1963年には国立公園に指定され2010年には世界ジオパークネットワークに加盟認定され、世界的に貴重な地域であることが認められました。

美しい香住海岸の景観と自然環境を将来に残していきましょう。

## げっばろう き 月波楼の記

江戸時代の有名な学者、皆川淇園（1735-1807）はその著書「月波楼の記」の中で、香住海岸の美しさについて述べています。

「その最も奇絶（とてもすばらしいこと）は明るい月が海面に写るときである。東の山から月が出るときは特にうつくしい。趣のある海面に道のように光が生まれるのは、まるで生糸であんだ絹の布のようである。」とその美しさを書き記しています。

また黒島を「松が茂っており真っ黒なので黒島という」とし、白石島については「島全体がみな桜の木で、春の花盛りのときは白い雲が海に浮かんでいるようである」と書かれています。

1928年の兵庫県の調査報告書には「岡見亭（今の岡見公園）より東望した景観は香住町の誇りとするところであり、淇園が名文になれるのもこの絶景にほかならぬ。」と、絶賛されています。



岡見公園から見た白石島(左)と黒島(右)

## 香住漁港

昔、香住沖は豊かな漁場でしたが大きな港がなかったため、大きな船をつけられず、港の整備は漁業関係者の悲願でした。その思いをうけ、1893年に香住村漁業組合が設立されました。初代組合長として、当時35歳の若さで村長に就任していた長熙が選ばれました。長熙は初代の漁業組合長として漁法の改善などの漁業の近代化と組織化を成功させ、港湾整備促進に尽力しました。しかしながら、港湾整備のなかばの1921年にこの世を去りました。

その熱い思いを継いだのが息子である長耕作です。1922年に37歳で第3代組合長となり、港湾整備の推進に心血を注ぎました。その甲斐あって1929年7月に漁港修築の計画がまとまり起工式が執り行われました。

しかしながら、長耕作はこの完成をみることなく、同年8月に惜しまれながら43歳の生涯を閉じました。

長父子の漁港整備にかける熱い思いは地域の人々に引き継がれ、翌年1930年8月に修築工事がはじまりました。戦争で漁船が軍に徴用されたりして漁獲高が激減した時期もありましたが、人々は困難に立ち向かい1951年には第3種漁港の指定を受け、日本海有数の漁港となりました。



昔の香住漁港



長 熙



長 耕作



長父子の碑

# 香住の年中行事

わたしたちのまち香住には昔から伝え継いできたいろいろな行事やお祭りがあります。その一つ一つに意味があり、地域のこころの拠り所となり絆を象徴するものでした。いろいろな行事に参加して、その思いに触れてみましょう。

## さんばんそう 三番叟（県指定無形重要文化財「香美町の三番叟」）

### 【一日市、香住、森、下浜】

香美町内には三番叟が7カ所伝承されていますが、特に香住地区には、一日市、香住、森、下浜の4カ所で伝承されています。

それぞれの三番叟は細部で振り付けなどが異なっていますが、おおよその構成は同じです。千歳、翁、黒木尉の順で舞台上に上り舞を舞います。天下泰平、国土安穩てんかたいへい こくどあんのんを願う舞であり地域の人々に伝承されてきました。一日市三番叟の面の裏には元禄9(1696)年の年号が書かれており、とても昔から舞われていたことがわかります。



香住

一日市



森

下浜

### 獅子舞【若松】

三柱神社の秋祭で獅子舞が披露されます。この獅子舞は1人が獅子頭をもち、もう1人が後ろに入る伊勢大神楽系の獅子舞です。



獅子舞

1950年に有志が豊岡のおだい小田井神社で習ってきたものが伝承されています。獅子舞は悪霊を払い、幸せを家に呼び込むといわれており、地域の人々の幸せを願う気持ちがこの伝統芸能を継承してきました。

月	日	行事(地区)
1	1	年賀式(各区・自治会)
	4	お日待ち(境、一日市)
	5	産土講(間室)、お日待ち(矢田)
	6	狐狩り、宮ごもり(七日市)
	7	どんど焼き(一日市、七日市、間室)、狐狩り(矢田、下浜)、お日待ち(下浜)、産土講(油良)
	8	どんど焼き(森、油良、矢田)、お日待ち(油良、間室)
2	9	山の神(矢田、下浜)
	3	節分祭(一日市)、宮ごもり(七日市)
	中旬	稲荷、金毘羅、恵比寿祭(下浜)
3	24	宮ごもり(七日市)
	初旬	事始め(七日市)
	中旬	初午祭(一日市)
	21	大師講(森)
4	春分の頃	社日祭(境)
	8	祈年祭・五社祭・護国祭(一日市)
	21	法庭神社春祭(下浜)
	24	大山神社春祭(矢田)
5	4	屋根ふき(間室)
	中旬	十一面観音祭(七日市)
5月下旬~6月上旬		シロメテ(七日市、間室)
6	第1日曜	産土講(森)
	24	万燈(下浜)

月	日	行事(地区)
7	第1日曜	弁天神社夏祭(境)
	第2日曜	八坂神社夏祭(一日市)
	24	愛宕神社祭(一日市)、愛宕講(間室、油良)、万燈・荒神・愛宕祭(下浜)
	28	川下大祭(七日市)
8	14	施餓鬼(矢田)
	23	地藏盆(矢田)
	24	万燈(下浜)
	23~24	万燈(矢田)
9	秋分の頃	社日祭(境)
10	第1日曜	吉野神社秋祭・森吉野神社三番叟(森)、八坂神社秋祭・一日市三番叟(一日市)
	5	香住神社秋祭・香住三番叟(香住)、十二社神社秋祭(油良)、大山神社秋祭(矢田)、八幡神社秋祭・下浜三番叟(下浜)
	5日ごろ	獅子舞(若松)
11	21	大師講(森)
12	中旬	お火焚祭(一日市)

毎月	31	宮ごもり(七日市)
定めず		大師講(間室)、伊勢講、二十三夜講(年2回月を定めず、森)

# 香住の歴史

## 香住の古墳

香住地区内には多くの古墳があります。主に7世紀ころにつくられた古墳が多く、上野山古墳群などのように箱式石棺と呼ばれる板のような石でつくられた棺を直接埋めたものや、月岡下古墳のように横穴式の石室をもったものがあります。



月岡下古墳の石室のようす



出土した丁字型利器

なかでも月岡下古墳から出土した「<sup>ちようじがかりき</sup>丁字型利器」と呼ばれる鉄製品は日本で4例しか見つかっていない貴重なものです。

## 香住のお城と長見寺

一日市の岡見公園西側には「塔の尾城」、駅前の香住駅の駅裏の島山には「志馬比城」、森の大乗寺の裏には「井上城」、加鹿野の東側には「釣鐘尾城」、下浜の西には「高木城」がありました。中世にはこれらの城をめぐる戦いがありました。

香住第一中学校のそばに「矢谷トンネル」があります。長見寺はトンネルの南側周辺にあったといわれるお寺です。志馬比城主篠部氏が長見寺で法要を営んでいる最中に、塔の尾城主長氏と釣鐘尾城主野石氏に攻められて廃寺となったといわれています。

2002年に発掘調査が行われ50センチを超える柱の根の部分や、当時はお寺などに使われていたと考えられる瓦が見つかったことから、この周辺にお寺があったことは間違いないと考えられています。



長見寺柱  
発掘調査で発見された長見寺の柱の根の部分

時代		主な出来事
原始～古代	縄文時代	月岡下遺跡（香住）などで人が住んでいた
	弥生時代	矢谷遺跡で人々が暮らしていた
	古墳時代	月岡下古墳（香住）、上野山古墳群（矢田）など多くの古墳がつくられる トチ三田遺跡で塩づくりが始まる
中世	1301	帝釈天倚像（下浜）がつくられた
	1336	塔の尾城・釣鐘尾城と志馬比城の争いがあった
	1452	帝釈寺（下浜）の尊阿が但馬国太田文を写した
	1580	羽柴秀長の所領となる
	1595	小出吉政の所領となる
	1693	通玄寺（香住）の薬師堂が建てられた
近世	1686	一日市の浜にクジラがよってきた
	1781	1月24日 一日市・若松で大火事
	1794	大乘寺の客殿が再興され、円山応挙とその一門の絵が収められた
	1856	香住で大火事があった
近代	1879	一日市・香住・森・下浜に小学校がつくられた
	1883	香住警察署がつくられた
	1895	4つの小学校を統合し香住尋常高等小学校がつくられた
	1911	香住一城崎間の鉄道が開通し、香住駅が営業を始めた
	1912	余部橋梁が完成し、山陰本線が開通した
	1918	矢田川が氾濫し水害となった
	1925	香住村から香住町へ名前を変えた
	1930	香住漁港の改修工事がはじまった
	1945	香住沖で海防艦が沈められた（香住沖海戦）
	1946	香住高校が開校した
	1952	香住東港の工事がはじまった
	1997	ロシアタンカーの重油が流出し海岸に流れ着いた
	2005	城崎郡香住町、美方郡村岡町、美方郡美方町が合併して、美方郡香美町となった



香住沖海戦鎮魂碑

学校名

学年

年 名前

かじかの  
加鹿野

すから  
守柄

もり  
森

まむろ  
間室

ゆら  
油良

えきまえ  
駅前

かすみ  
香住

なのかいち  
七日市

にし かすみ  
西香住

わかまつ  
若松

さかえ  
境

ひといち  
一日市

西港

東港

(国)名勝香住海岸

花見峠

今子浦

黒島

白石島

— 2023年3月発行 —

編集：香住ふるさとガイド編集委員会

発行：香美町の歴史文化を未来へつなく協議会、  
香美町教育委員会